



人口減少、高齢化が進む中で地域の原動力は人であり、その活力をいかに維持、または、取り戻すかは大きな課題です。この課題を解決するには、これまで以上に行政と町民がともに協力し支えあう、共生・協働による活力ある地域社会づくりを推進する必要があります。

今年度の座談会では、よりよい地域づくりを目指し、今後の公民館活動推進のきっかけとなるよう公民館主催の『ふるさと元気座談会』が実施されています。

8月下旬開催の久富木地区を皮切りに、これまで開催された5地区座談会の意見交換の一部を紹介します。

(11月24日に開催された湯田地区については、来月号に掲載します。)

## 久富木地区

8月27日(木)

Q久富木川堤防の草払いを区で実施しているが、高齢化が進み対応に苦慮している。河川管理者に働きかけるなどしてほしい。

A今年度は緊急雇用対策事業を活用し実施しています。少子高齢化が進み地元のみでの管理が難しくなっている事実はありますが、県にも要望はしています。財政事情も厳しいようです。可能な限り地元でも協力ください。

●その他意見  
町道の改良、橋梁の耐震強度、少子化対策

# 語りもんそ!

## ふるさと元気座談会を実施

## 柏原地区

9月14日(月)

**Q** 農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄による遊休農地の増大が懸念される。後継者不足と併せて考え方を伺いたい。

**A** さつま町では今年1月に「さつま町耕作放棄地対策協議会」を設立し、農協関係機関と連携を取りながら国の事業を活用して耕作放棄地の解消に努めています。地元の合意形成を得るため、将来を見据えた方針を地域内で話し合っていくことが大切だと考えます。

### ●その他意見

内水対策、給食費未納問題、少子化対策、公民会未加入者の加入促進策とごみ処理問題、中山間直接支払い交付金制度の継続、町道整備要望、条例公民館の統廃合

## 神子地区

11月5日(木)

**Q** 手すき鶴田和紙は、本町に残る伝統的工芸品である。行政で

も知名度向上と販路拡大に積極的な協力できないか。

**A** 手すき鶴田和紙は、町内宿泊施設と連携した体験ツアーを取り入れ知名度の向上に努めています。一部の学校でも卒業証書つくりを行っており、機会があれば全町に体験の場を広げることも検討したいと思います。町としても用途拡大の一助となるようホームページ等も活用し知名度向上に寄与してまいります。

### ●その他意見

上下大迫地区の水不足、総合支所と公民館の在り方、道路危険防止策、基幹農道の拡幅計画

## 虎居地区

11月12日(木)

**Q** 河川激特工事に併せアーケードの撤去を計画している。撤去後の店舗改装や日よけ対策への助成措置は考えられないか。

**A** アーケード撤去計画のうち補償対象でない部分については、町の助成制度を利用していただきたいと思いません。撤去後の助

成事業については、新たな助成制度を創設する方向で検討しています。今後も協同組合やアーケード通り会と連携して進めてまいります。

### ●その他意見

激特事業の進捗状況と交通対策、子育て支援策、中学校移転、道路整備、農業政策、宗功寺公園・県立公園一体の整備

## 一渡地区

11月12日(木)

**Q** 同地区でも、最近は一人暮らしや、高齢夫婦だけの世帯、心身不自由な世帯が増えている。行政の対応策を示していただきたい。

**A** 支援策として、在宅福祉アドバイザーを設置し、声かけや話し相手など、地域福祉サービスの情報提供や見守り活動、町社会福祉協議会を通じた「近隣保健福祉ネットワーク活動業務」の推進を行なっています。また、昨年度から災害時要援護者制度を実施しており、関係者情報を共有し、見守り活動に活用できるように推進します。

### ●その他意見

内水対策、結婚対策、折小野地区の濁水対策、区有林管理、地域の清掃作業、元氣老人の活用、小中学校再編

### 座談会へ行こう!!

各地域のふるさと元気座談会が、下記のように計画されています。ぜひご参加ください。

#### ■白男川地区

12月6日(日) 16:00~  
白男川紫陽館

#### ■時吉地区

12月15日(火) 18:30~  
時吉ほたる館

#### ■宮之城屋地地区

2月19日(金) 18:30~ (予定)  
宮之城ひまわり館

#### ■永野地区

2月下旬 永野交流館

※日程が決定次第、各区からお知らせがあります。